

国際ロータリー 第2780地区

ガバナー月信

2023年11月号 No.5

2023-2024年度ガバナー 田島 敏久



世界に希望を生み出そう

RID2780地区テーマ

若者と希望: MENTAL HEALTHで和の世界を生み出そう

Rotary



茅ヶ崎RC 直前会長・幹事慰労会 新会員歓迎会



寒川RC 除幕贈呈式



綾瀬RC 園児によるピーナッツ掘り



茅ヶ崎湘南RC チャーター記念例会



茅ヶ崎中央RC 9月第一例会



綾瀬春日RC 桃園百齡RCとの合同例会

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2780

2023-2024



クラブ会長・幹事の皆様、 そしてクラブ会員の皆様へ

国際ロータリー第2780地区
2023～24年度ガバナー

田島敏久

(相模原西RC)



ROTARY CLUBは1905年2月23日、米国CHICAGOにて創設された。当時の米国社会は変動期で、CHICAGOは犯罪、汚職、暴力の巣窟で利己主義・悪徳商法が横行していた。その社会に対応する為に、異業種・相互扶助により、社会のためだけでなく、お互いの職業を利用しあうこと、会員同士の互助組合として、他の3人と始めた。

その後の互助組合としては順調に進み、第6代会長ARCH C KLUMPHは余裕が出来て、奉仕活動するには活動資金の必要性を感じた。「何か良いことをしようではないか。」

1917年ATLANTA大会で新しく始めた基金がROTARY財団の始まりであった。1928年に正式決定、MISSION STATEMENTはROTARIANが健康状態を改善し教育の支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである。

1979年3HプロジェクトとしてPHILIPPINESの600万人以上の子供にPOLIO予防接種実施。

1980年3-委員会：規定審議会「予防接種によってPOLIOを根絶する。」

1985年POLIO PLUSプログラム開始以来POLIOは125ヵ国35万人以上の感染が確認されていたが、世界POLIO根絶推進活動(GPEI)とのPARTNER協力を得て1988年25億人以上の子供に予防接種を施行。感染者数は99%減少した。

尚、2023年8月22日PAKISTAN 2例、AFGHANISTAN 5例、世界で7例の野生型POLIO感染者数である。再流行が起きた場合

には、今後10年間に、毎年20万人以上の子供にPOLIO感染・身体麻痺の犠牲が予測される。根絶活動はまだ、終わっていない。

従って、今後、POLIO根絶に必要な15億ドルの資金確保が大きな課題である。

1994年西半球・POLIO-FREE宣言

2000年西太平洋地域・POLIO-FREE宣言

2002年Europa地或・POLIO-FREE宣言

2014年東南アジア諸国・POLIO-FREE宣言

2002年BILL & MELINDA・GATES財団POLIO-撲滅運動に参加。

2013年にROTARYがPOLIO根絶の為に集めた(3500万ドル対象)資金の2倍額の上乗せすることをGATES財団が発表された。

2004年ARCH KRUMPH SOCIETY創設：25万ドル以上の寄付をした人をメンバーとしており、2023年8月末日本国では【AKS会員数・62名、PHS会員数・1377名】

※2013～2014年度より「未来の夢計画」として地区補助金、GLOBAL補助金制度が新設された。

※使命：

ROTARIANは人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること。

【DOING GOOD IN THE WORLD】

以上がROTARY財団の歴史・指針・方向性であります。各論は他の委員長に執筆していただきます。



ロータリー財団プログラムに参加と支援を！

地区ロータリー財団委員会
委員長 **後藤 定毅**
(大和中RC)



私たちロータリアンが会員であるそれぞれのロータリークラブは、国際ロータリー（RI）の会員です。このRIに所属するクラブは、全てその設立認証を受けた時から好むと好まざることに関係なく、「ロータリーの目的」に示された基本原則と規則に拘束されることについても受諾したものとみなされます（RI定款第4条＝会員）。従って組織的にはRIの方針に反対だという人は、ロータリークラブの会員には一人もいないということになります。

普通の組織の場合いろいろな決めごとがあつて、それを守らないと罰則があつて処分されますが、ご案内のようにロータリーには三つの義務以外には何の拘束もありません。会社や業界などの組織のように無理に入っていないければならないこともありません。ロータリークラブは入ることも、辞めることも、寄付することも、しないことも、全くその人の自主的判断に任されています。それはロータリーという団体が、友達と仲良くしよう、職業を通じ自己研鑽をしよう、そしてそのエネルギーで奉仕活動をしよとの誓いと思いで集まっている集団だから、特別な命令も罰則も必要としていないのではないのでしょうか。「ロータリーの目的」の下に、自らの意識と意欲の善意を持った者が集まり、成り立っている「理想の組織・団体」だと言

るからではないでしょうかと思います。

今月は「ロータリー財団月間」です。1917年、アーチ・クランフの小さな基金で始まったこのロータリー財団が果たしてきた役割は、私たちの社会や世界において、ロータリーへの高い信頼信用を築くことが出来た部分が多いのではないのでしょうか。今ここに先達のロータリアンによって、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて活動して来たロータリー財団が、もしこのロータリーになかったとしたら、果たしてロータリーがこれほどまで永く続き、社会や世界から注目を集める評価が得られるようになったかどうか、連鎖になった親睦と奉仕（ロータリー財団）が、間違いなくロータリーの存在を意義あらしめて来たのではないかと思います。

ところで冒頭述べたように、ロータリークラブの会員であるということは、「ロータリーの目的」を受諾したということでもありますから、国際理解、親善、平和を推進するという「ロータリーの目的 第4」の実現のためにも、またロータリー財団の「世界で良いことをしよう」という活動のためにも、ぜひ皆さんに今から、ここから、自分から、財団プログラムへ積極的な参加と支援をお願いしたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
月間に因んで	
ロータリー財団プログラムに参加と支援を！	3
世界でよいことをしよう	4
奉仕活動をクラブ会員の好物に	

奉仕事業のきっかけ	5
円安下での211.72ドル達成	
皆様の寄付で世界に貢献しよう	6
子ども達も参加しての募金活動	
第4グループ・クラブ紹介	7
第4回 国際ロータリー第3662地区・第2780地区 Zoom 交流会	10
新会員紹介 他	11



世界でよいことをしよう



財団補助金委員会
委員長 **吉野 龍彦**
(平塚湘南RC)

ロータリー財団では「世界でよいことをしよう」の理念の下で、財団寄付の意味と大切さをご理解して頂き、財団で将来のある若者・青少年の育成に尽力しつつ、補助金を活用した素晴らしい奉仕事業が行われますように、クラブの皆様とご一緒に活動しております。

11月のロータリー財団月間にあたり、各委員会では卓話等により皆様のクラブに参加させていただきます。より身近な例会でご寄付を活用して補助金を使いクラブの活性化を計った奉仕活動の成功事例や補助金申請の手順、方法などのご説明。また奨学生の経験に基づき夢や希望、ロータリーに期待していることなど実際に財団学友からお話ししてもらい奨学金制度とそれを支えるロータリー

とロータリー財団の存在意義を認識して頂くこと。

全世界のロータリークラブが目標とするポリオ根絶の活動報告など。

そしてこの様な各委員会の卓話を通じてより一層のロータリー財団の意義とご理解を深めて参りたいと思います。

さらにご理解の上、ロータリー財団が毎年お願いしております年次基金、ポリオプラス、恒久基金等のご寄付の更なるご協力をお願いしたいと存じます。

これまで通り、貴重で大切な皆様からのご寄付は、無駄なく有効に活用させて頂き、各クラブの皆様が「世界でよいことをしよう」を実現、実行して頂く為にお役に立てれば幸いです。

奉仕活動をクラブ会員の好物に



補助金分配・VTT委員会
委員長 **前田 長生**
(横須賀RC)

当地区の地区補助金申請は例年20件以上の申請数でしたが、昨年度はわずか9件に減少しました。

その結果、皆様からいただいた多額の地区財団活動資金（DDF）としての年次寄付の剰余金は繰越金となって、ポリオプラスや重点分野のための恒久基金・平和センター・災害救援基金・国際財団活動資金（WF）のいずれかに分配され、地区での再利用は不可能になります。

申請数の減少はコロナ禍の影響が考えられますが、コロナ禍を抜け出した今年は例年を凌ぐ申請数により、剰余金の無いDDFの有効な活用が大きく期待されているところです。先般も地区の各グループの会長幹事会に本委員会のメンバーがお邪魔して、今年の補助金説明会へのご参加をお願い

いたしましたこの経緯をご理解賜れば、誠に幸いです。

委員会ではロータリー活動の根幹をなす奉仕と親睦の理念を求めて、皆様からいただいた奉仕活動の申請が最大限に実現するよう、本委員会のメンバー全員で皆様と寄り添い、真摯に1件ずつ丁寧に考えてまいりたいと思っています。

またフィリピン・セブ島での口唇口蓋裂治療を目的とした当地区唯一のVTT活動も本年11月で終了します。VTT活動のハードルの高さを厭わず、新たなVTT活動の申請が出ることにも今年は大変な期待を寄せています。

奉仕の輪が広がって、それが互いの深い親睦となり、皆様とともに豊かなロータリー人生を享受できるよう頑張ってみますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

奉仕事業のきっかけ

補助金管理委員会

委員長 坂根 隆志

(ふじさわ湘南RC)



地区補助金に携わって、色々なクラブの奉仕事業を見て、みなさんの発想力に感心させられます。おそらく、その後、クラブの継続事業になったり、他の奉仕事業に影響を与えていると勝手に想像しております。今では、委員会で多くの奉仕事業を最後まで見ることはできますが、約10年前私が自クラブ幹事の年に初めて地区補助金と接しました。自クラブからガバナーが出るので、その前年に地区補助金を申請しようというクラブ内の気風が高まり、子ども対象の行いたい事業がちょうどあったので企画してみました。当時、地区補助金は「新地区補助金」と言われていたので、クラブの飲み会で補助金の話をしたとき「え？建物の新築費用がでるの？」なんて、とんちんかんなこと言うメンバーと笑ったことがありました。ともあれ、次年度の地区大会の準備がある中、クラブ幹事の役割を担いながら申請の準備をするのは、結

構骨が折れる作業でした。その後、申請が通ったものの、次年度の補助金事業実施年度に入りましたが、地区大会の運営がある年ですので、地区大会が終わるまではそれに追われ、大会終了後事業の準備に追われ、またしても大変な1年だったように記憶しています。その後の数年間、その事業を継続事業として行いました。私が会長の年度も楽しくその事業を行い、充実した年になったのは自分自身の良い財産になったと思います。現在、私のクラブでは、その後に行った別の補助金事業が継続事業として盛り上がっています。

各クラブは人数や地域性など様々ですので、奉仕事業を一から企画することが難しいところがあると思いますが、クラブの活性化にとっても、携わるメンバーにとっても必ず良い影響があるはずですので、ぜひ多くのクラブにチャレンジして頂きたいです。

円安下での211.72ドル達成

財団資金推進委員会

委員長 山田 修

(相模原南RC)



日頃からロータリー財団へのご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。

毎年11月になると各クラブの例会や理事会で会長・幹事・クラブ財団委員長から年次基金への寄付に係わる話題が出てくると思います。「またか」と思われる方もいれば「待ってました」と受け止める方と様々かと思えます。

昨年度、我が2780地区は1人当たりの年次基金211.72ドル（2023年9月時点暫定値）を達成する事が出来ました。毎年200ドルの目標を掲げてきましたが目標額の105.8%を見事に達成する事が出来ました。これは、全国34地区の中で第1位という快挙であり、皆様の奉仕に対する気持ちの大きさが全国1位の形に表れたのだと思います。

さて、この原稿を書いている10月6日の為替相

場は1ドル148円台半ばで推移しています。物価高の中、海外の現地通貨で暮らす奨学生が今日もこの先も続いていきます。円安だからといって奨学金を減額するわけにもいきません。皆様からのロータリー財団へのご寄付は、地区から選出されて海外の大学や大学院で勉学に励む優秀な財団奨学生の貴重な生活費と学費にもなっています。

時々刻々と変動する為替は誰もコントロールできませんが、自らの気持ちと行動をコントロールできるのがロータリアンの特長かと思えます。

円安下でのドル建てでのご寄付はご負担が大きいかと存じますが、未来ある若者のため、自然災害や戦災で苦しむ人たちのため、2780地区のコミュニティのために、今年度もご寄付をよろしくお願い申し上げます。



皆様の寄付で世界に貢献しよう

平和フェロー・奨学金委員会
委員長 **福山 茂**
(相模原グリーンRC)



第2780地区平和フェロー・奨学金委員会は、3つの奨学金プログラム（平和フェロー奨学金・ロータリー奨学金・第2780地区ロータリー奨学金）を担当しております。

ロータリー財団は「世界で良いことをしよう」の理念の下、皆様の寄付で運営されています。その皆様からの寄付の一部が「人を育てるロータリー財団」の活動として、平和フェロー・ロータリー財団奨学生のための奨学金として活用されております。

平和フェロー、ロータリー財団奨学生は多くの優秀な人材が世界で活躍しております。財団奨学生を例にとると、国連難民高等弁務官を長年務められた故緒方貞子氏、最近では国連軍縮担当事務次長の中満泉氏（1987-88年厚木RC推薦）の世

界平和に貢献されている活躍は皆様がよく知るところであります。また当地区においてもなかなか湘南RCを中心に多くの学友の方がロータリー会員として活動しております。

今年度は前年度に引き続き、当地区担当の平和フェローは4名（コロンビア3名、リベリア1名）となります。平日は国際キリスト教大学で授業があるため、なかなか皆様と交流する機会を持ってませんが、11月の地区大会では晩餐会、新世代交流会、本会議と参加する予定となっておりますので、積極的にどうぞ交流を図っていただければと思います。

財団への寄付はこの様にたいへん有益なこと、高潔な行為であります。会員の皆様にはぜひ誇りを持っていただきたいと思っております。

子ども達も参加しての募金活動

ポリオプラス委員会
委員長 **笠間 治一郎**
(綾瀬春日RC)



今年度はコロナ感染症が第5類に分類されたことで、各クラブにおける「END POLIO NOW」の募金活動も盛んに行われ、ローターアクターやインターアクターなども参加して実施されています。また、少年野球やボーイスカウト、ガールスカウトの子ども達と一緒に募金活動を行うなど、多様な形で実施されています。この様なロータリアン以外の方とのコラボによる活動でより一層のポリオに対する理解が深まるのではないのでしょうか。

10月25日には当地区で世界ポリオデーとして、チャリティーコンサート「夢の音楽祭」が開催され、そこでポリオについての展示も行いました。今まで以上に、ポリオ根絶の重要性の理解と浸透に繋がったのではと思っています。

今年度の地区方針には一人40ドルの寄付をお

願いしています。11月はロータリー財団月間となっていますので、ロータリー会員の皆様、この機会に寄付をお願いいたします。ポリオ根絶がロータリーの最優先事項とすることを忘れずに、今後とも活動をしていただきたいと思います。また、既にご案内しております「ポリオプラス・ソサエティ」ですが、これは毎年100ドルをロータリー財団「ポリオプラス」への寄付を約束するものです。多くの国々のロータリー会員が参加しており、当地区では39名の登録をいただいております。皆様のご理解のもと、多数の登録をお願いいたします。

2023年の症例数は10月20日現在で、パキスタンで3例、アフガニスタンで6例の合計9例の野生形ポリオによる症例が報告されています。一日でも早く根絶できることを願うばかりです。



茅ヶ崎ロータリークラブ

会長 杉本 剛 昭



茅ヶ崎ロータリークラブは1960年8月10日に創立され、63周年を迎えました。年度当初は45名でスタートしましたが、本年度に入り2名の新しい仲間を迎えることができました。

当クラブはコロナ禍を経て世代交代の時期を迎えており、入会3年未満の会員も増えていきますので、ロータリーを理解し、クラブの良き伝統を継承してもらうための研修の充実を図っています。奉仕については、これまで継続して行ってきた濱降祭での海岸清掃や、



子ども食堂

茅ヶ崎駅前植栽事業、子ども食堂の運営参画に加え、9月21日に台北にて台北西北RCを互いに姉妹クラブとするフィリピン・マンダロンRCとの間で友好クラブ締結を行いました。これをきっかけに新たな国際奉仕への取り組みを行いたいと考えています。親睦については、これまで積極的な活動をしてきたゴルフ同好会に加え、長らく活動を休止していた野球同好会が活動を再開し、神奈川県RC親睦野球大会への参加を目指しています。恒例のクリスマス家族例会の充実、毎例会での卓話についても重視しています。様々なきっかけと機会に溢れた、クラブ活性化につながる1年としてまいります。



濱降祭海岸清掃



台北西北訪問



茅ヶ崎駅前植栽事業

寒川ロータリークラブ

会長 村松 一



当クラブは、現在会員数37名（うち女性会員3名）、平均年齢は64.14歳です。昨年度5月に創立50周年を迎え、記念講演（講師：奈良・薬師寺執事長 大谷徹柴氏）、記念式典・祝賀会とおかげをもちまして無事に終えることができました。記念事業としては、創立25周年の際に創った「ロータリーの泉（さむかわ中央公園内）」の改修工事を実施。外部に委託せず、クラブの会員自らが汗を流して作業を行い、心を込めて新しい「ロータリーの泉」を完成させました。会員が一丸となって成し遂げた素晴らしい記念事業だったと自負しております。

創立50周年を迎えるにあたり、クラブのスローガンを「子どもたちと寒川の未来をつなごう ～さらに先の50年へ～」とし、今年度は長期ビジョン検討委員会で次なる目標を模索しているところです。当クラブでは、町内青少年2団体と地区補助金を使って立ち上げた「小谷子どもカフェ」への助成金を毎年お渡ししており、改めて寒川の子どもの未来、また、寒川RCの60周年・70周年に向かって、地域に根差した奉仕活動を進めていきたいと思っています。



泉清掃



泉の風景

綾瀬ロータリークラブ

会長 南里和宏



綾瀬ロータリークラブは2024年5月14日に創立50周年を迎えます。現在の会員数は37名で、女性会員はまだ入会おりません。我がクラブの和気藹々とした例会は、先輩会員と若い会員の良い関係を築く場となり、出席率も大変高くなっています。また、特に親睦にも力を入れており、季節ごとの家族同伴行事、誕生会など会員同士のコミュニケーションを図る炉辺会合の場等、常に持てるよう企画を立て実行しています。全国的に会員減少が見受けられる中ではありますが、我がクラブでは最大限の魅力を沢山の方にお伝えをし、入会をしてもらえよう考えています。また、女性会員も積極的に入会して頂けるよう日々心掛け活動をさせて頂いています。

後半は、50周年創立記念などの行事が控えており、各実行委員会を立ち上げ、クラブ一丸となって準備を進めています。奉仕活動では、今年度の会長方針「次の50年へ繋ぐ」をテーマに、従来の「新一年生にランドセルカバー寄贈」・「園児によるピーナッツ掘り」・「トスボール大会」に加え、「地元目久尻川に鮎放流」を継続事業にできるよう取り組んでいます。地域の環境問題等を念頭に置き、全会員が携われ、地域に密着できる奉仕事業にしたいと考えています。



茅ヶ崎湘南ロータリークラブ

会長 太田英之



茅ヶ崎湘南ロータリークラブは1976年に発足し、今年創立47年を迎え、現会員数43名のクラブです。クラブビジョンを「そこから何がはじまる、茅ヶ崎湘南RC」として、様々な活動を行っています。

今年度は、コロナ禍も落ち着き始めたことから、例会では外部からゲストをお迎えし、様々なテーマで卓話をいただいています。社会奉仕活動としては、サーフィンを通じた青少年（小学生）の育成をテーマとしたイベントの実施に向け、検討・準備を進めています。毎年行っている海岸清掃活動も既に2回実施しました。また、これまでのHPに加え、FACEBOOKも開設し、情報の発信にも力を入れています。充実した例会により出席率の向上を図り、親睦活動、社会奉仕活動を通して、コロナで、少し薄れがちとなった会員同士の連帯感やクラブへの帰属意識を高めていくことが、会員増強・維持にも繋がると考えています。



海岸清掃

今年度も先輩方が培った当クラブの伝統を大切に、地域に根差した活動を行って参ります。



例会風景



納涼例会

茅ヶ崎中央ロータリークラブ

会長 松岡 慶純



茅ヶ崎中央ロータリークラブは、昭和59年2月24日に会員数33名で創立され、本年40周年を迎えます。

本年度会長スローガンは「承前啓後」。昔からの物事を受け継ぎ、未来を切り開くという意味があります。40年間クラブを繋いできた方々に感謝し、創り上げてきた当クラブの事業や文化を、中堅・若手のメンバーに引継ぎ、未来へ繋げていきたいと思ひます。

今年度の方針として、●デジタル・ネットワーク化の推進、●外部卓話者の充実、●会員増強（目標会員数60名）、●承前会（チャーターメンバーの会）発足、●40周年事業としての社会奉仕事業を実施して参ります。

9月第一例会では、埼玉西武ライオンズ前監督 辻 発彦様をお迎えして、会員増強を目的とした例会を開催しました。茅ヶ崎市長 佐藤光様をはじめ、多くのゲスト、来場者にお越し頂きました。

私たちは、会員同志の親睦を第一とし、40周年を記憶に残る1年にして、更なる飛躍を目指してロータリー活動を行っていきます。



綾瀬春日ロータリークラブ

会長 鈴木 敦



私達のクラブは『楽しむロータリクラブ』が会員間の共通認識となっており、例会は常に和気藹々と笑い声が絶えず、誰でも意見を述べられるような雰囲気作りをしています。

28年間継続している奉仕活動、『コスモス例会』では会員の奥様方と一緒に、市内の養護施設をお招きし、秋の一日をコスモス狩りと美味しい食事でもてなしています。

また、一昨年創立30周年時立ち上げた奉仕活動『寺っこや食堂』は地域の繋がりを築くコミュニティ食堂として、会員・ボランティアの方にご協力いただき月一回開催しています。多くの方々が楽しんで頂ける場として継続していきます。

綾瀬春日ロータリークラブでは、これからも会員と一緒に楽しみ笑顔となるようプログラムを進めていきます。メーカーに来た方も一緒に笑顔になりましょう、是非とも我がクラブの例会にいらっしゃって下さい。



第4回 国際ロータリー第3662地区・第2780地区Zoom交流会

2023年8月31日、RI2780地区ガバナー事務所（会議室）において、姉妹地区のRI3662地区（韓国済州）と、「第4回Zoom交流会」を開催しました。RI3662地区からは尹成珉ガバナー・李姉妹地区常任委員長他4名が参加されました。当地区からは田島ガバナー・佐野姉妹地区委員長・女性会員として北村副委員長・浜田・山谷・岩澤委員他13名が参加し、様々な意見交換を行いました。

また、ローターアクトクラブの交流も行いま

した。当地区からは相模原ローターアクトの張旭直前会長が、RI3662地区からはコウ・ヒョン会長が、互いのクラブの活動内容を紹介しました。そのほか、地区の青少年事業についても意見交換を行うなど、大変有意義な時間となりました。

11月の当地区の地区大会には、RI3662地区から19名のロータリアンが訪問予定です。再会を約して、交流会を終了しました。



2780地区の出席者



3662地区の出席者



オンライン会議



新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



おかもと まさし
岡本 雅司
①茅ヶ崎湘南
②2023. 07. 05
③総合建築
④山本 義治



くろさわ ゆうや
黒沢 裕矢
①綾瀬春日
②2023. 07. 05
③貴金属装身具製造
④塚原 吉隆



くろぎ のりみつ
黒木 則光
①厚木中
②2023. 07. 05
③総合病院
④小澤 俊通



みやた じゅん
宮田 潤
①厚木県央
②2023. 07. 07
③運転代行サービス
④井 寛明、森 志朗



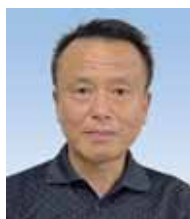
まえだ がくなり
前田 学成
①厚木中
②2023. 07. 12
③地方銀行
④藤川 孝幸



よこざわ こうたろう
横澤 高太郎
①大和中
②2023. 07. 13
③総合建設業
④野口 宏



みやがわ かつゆき
宮川 勝行
①湯河原
②2023. 07. 14
③社会保険労務士
④佐藤 友彦



ふたみ やすひろ
二見 恭弘
①二宮
②2023. 07. 21
③不動産業
④大岩 園子、加藤 哲也



ないとう よしひろ
内藤 良浩
①湯河原
②2023. 08. 04
③板金業
④西山 敦、高杉 尚男



かざま ともゆき
風間 智之
①ふじさわ湘南
②2023. 08. 07
③歯科医師
④松下 力



ほそい ゆうじ
細井 祐治
①横須賀北
②2023. 08. 08
③商業銀行
④平林 祐樹、武藤 修儀



しもはら みつお
下原 三伸
①海老名樺
②2023. 08. 10
③廃棄物処理業
④小林 和彦



いしい しゅんた
石井 峻太
①寒川
②2023. 08. 21
③建設業
リフォーム建築
④茂内 勝



ふじ ゆり
藤 優莉
①寒川
②2023. 08. 21
③飲食業
④金子 一茂、島村 盛晶



くりた みつお
栗田 光郎
①藤沢東
②2023. 08. 22
③電気部品製造業
④須藤 修司



わたなべ ひとひと
渡辺 彦人
①藤沢東
②2023. 08. 22
③建設業
④村上 進



きくち はるとし
菊池 晴利
①相模原
②2023. 08. 24
③駐車場管理業
④細谷 政幸



こいけ まさひろ
小池 正宏
①海老名
②2023. 08. 28
③総合設計業
④葛野 耕司



あおの ごう
青野 豪
①鎌倉
②2023. 08. 29
③医師
④御代川総一郎、石渡 徳一



はやさか こうじ
早坂 浩治
①イノベーションウェル
②2023. 09. 01
③不動産業
④田淵 勇太



きつかわ なおき
橋川 直樹
①綾瀬
②2023. 09. 05
③建築塗装業
④矢口 大作、南里 和宏

**鎌倉RC 事務局
開所時間変更のお知らせ**
※鎌倉RC事務局の開所時間が
10月より変更になりました。
月・金曜日 10：00～16：00
火曜日 10：00～18：00

訃報 ご冥福をお祈り致します

さかもと ひでみ
坂本 秀美 (伊勢原中央)
2023年9月14日逝去(享年75歳)

1988年8月15日 入会
2007～2008年度 会長
2020～2021年度 会長
ベネファクター/PHF/
マルチプルフェロー
米山功労者/米山マルチプル

